

思想ノ善導ニ努力セザルベカラザルナリ。更ニ我財界
ヲ一瞥スルニ、目下國內到ル所財政國難ノ悲鳴ヲ聞カ
ザルナク、就中來年度ノ政府豫算ニ對シテハ囂々タル
非難ノ聲ヲ耳ニスルモ、吾人ハ滿洲事變費ト之ニ關聯
スル軍備充實費トハ萬難ヲ排シテ之ヲ協賛スルヲ國民
當然ノ義務ナリト信ズルモノニシテ、爾他ノ新規要求
ノ如キハ軍部ト其他ノ各省トニ論ナク全部之ヲ削除ス
ルノミナラズ、尙進ンデ徹底的行政整理ヲ斷行シテ大
ニ冗費ヲ節約スルト同時ニ、稅制ヲ整理シ以テ擔稅力
ニ富メル階級ノ負擔ヲ増加シ、少クトモ歲入出ノ均衡

ヲ期スルニアラザレバ直面セル曠古ノ財政國難ノ突破
ハ到底不可能ナリト信ズ。斯ノ如クシテ歲入出ノ均衡
ヲ得バ、財政上ノ枝葉末節ノ諸問題ハ自然解決ヲ見ル
ニ至ルハ之ヲ豫想スルニ難カラザルナリ。

之ヲ要スルニ出ツルヲ制シ入ルヲ計ルハ財政上ノ祕
訣ニシテ、特ニ帝國財政ノ現狀ニ於テハ益其必要ヲ痛
感スル次第ナリ。
以上ハ吾人ノ時局ニ對スル所感ノ一端ニ過ギザルモ
之ガ實行ハ快刀亂麻ヲ斷ツノ慨ヲ示スニアラザレバ不
可能ナリ。然ルニ黨利黨略本位ニ立脚シ、情實纏綿セ